

タイムスリップ～世代を超えて～

第7回 晴香園フェスタ

盛況のうちに終わる!

10月4日秋晴れの中、晴香園フェスタが開催されました。今年のテーマは、「タイムスリップ～世代を超えて～」です。子どもも大人も年を忘れて一緒に楽しもうと、今と昔の遊びや食べ物を用意しました。子ども達も自分のおこづかいをためて、フェスタを楽しみにしていました。

食べ物コーナーでは、今時の食べ物としてのホットドックに、昔を思わせる玄米を入れた今昔炊き込みごはん。赤や緑色のカラフル



受付には大行列!

晴香園だより

題字 山本健治先生

第23号

発行

児童養護施設 晴香園
〒270-0011 千葉県松戸市根木内145
電話 047(345)2722
FAX 047(309)8807
E-mail: info@s-haruka.org



作って遊んだ割り箸鉄砲、射的コーナー

なゼリーと昔ながらの煎茶を添えたようかん。その他、豚汁、から揚げ、フライドポテト、マドレーヌなど模擬店を開きました。

フライドポテト、から揚げ、今昔ごはんはすぐに売り切れ、厨房スタッフも大忙し。その後、他の食べ物もすべて完売することができました。

「カフェ赤い花白い花」では、パティシエの焼いたクレープを販売しました。

遊びのコーナーでは昔からある

共同制作は、皆様に手型の型押しにご協力いただき、太陽の下で遊ぶ子ども達の絵が完成しました。事務所に飾ってありますので、近くにいらっしやうた際にはぜひ見ていってください。

バザーコーナーも大盛況。お米、植物、日用品、雑貨、洋服、玩具など販売しました。商品をご寄付いただきました皆様、ありがとうございました。



大人気のアートバルーンコーナー

遊びのベーゴマ、割り箸鉄砲、射的、シャボン玉に、今の遊びとして、アートバルーン、スライム、ストラックアウト、謎解きウォークラリーなどを行いました。

段ボール制作コーナーでは、子ども達がたくさん段ボールを自由な発想で立体的に組み立て、最終的には『秘密基地』が出来上がりました。そして、基地の中での遊びに発展していきました。



共同制作は手型で

晴香園の子どもたちもお客様をおもてなし。地域の方々と交流したり、お世話になっている方々をご案内したり、一緒に過ごしました。

今年も多くの方々にお手伝いいただきました。ご協力本当にありがとうございました。ご来園下さった皆様、ぜひまた来年も晴香園に遊びにきてください。お待ちしております。



段ボールで作った秘密基地

後援会特集

「後援会活動のめざすもの」

後援会長 松井 秀文

「二人でも多くの子ども達に未来の希望の橋を架けたい」と平成19年に発足した晴香園後援会は現在約360名の会員の方々に支えていただいております。そして、子ども達の未来が少しでも明るいものとなるように、希望を失わず進んで行けるようにとその活動を行なっております。

福沢諭吉はその著「学問のすずめ」の中で「賢人と愚人との別は、学ぶと学ばざるとによりて出来るものなり」「学問を勤めて物事をよく知る者は、貴人となり富人となり、無学なる者は貧人となり下人となるなり」と述べています。

後援会の活動で最も重点を置いているのが卒園後に経済的な理由で進学を諦めるようなことがない環境を作ることです。更に、子ども達が社会に出て必要な精神力、体力、学力を養うことの出来る場、部活、サークル活動、塾、キャンプといった自己を向上させる場へ自ら参加することを支援すること



旅立ちの会での松井後援会長

も活動の一つとしてしています。今、貧困の連鎖が広がりますが、そのようなことが起きないように支援をすることが後援会の役割と考えます。更に今後は集団生活から1人でも生活することとなった時に、少しでもスムーズに社会生活に適應できる支援もしていきたいと考えています。これは言うは易く行うは難しと言つてよい問題ですが、晴香園の子ども達が抱えている問題の一つであり、何とか解決できるような支援をしていきたいと思っております。

皆様の末永いご支援をよろしくお願ひ致します。

後援会のご支援による多彩な活動

晴香園後援会のご支援により、子どもたちの活動の幅は広がり、自立にとつて必要な様々な体験を積むことができています。今回は、その活動をご紹介します。

高校卒業生の旅立ちを支援

高校を卒業すると子どもたちは晴香園を卒園して旅立っていきま

す。就職、進学とそれぞれの道を歩み始めますが、その後の生活の一切は自分で賄っていかなければなりません。国からも卒園準備金が支給されますが、アパートを借りる費用や必要な家具や家電製品を揃えるだけでほとんどなくなつてしまいます。ですから、多くの施設では、卒園後の生活費のために高校時代からアルバイトをする

子が多いのです。しかし、高校生活で経験してほしいことはたくさんあります。勉強も頑張らなければなりません。貴重な時間をアルバイトだけに費やさなくてもすむように、後援会から自立生活準備金をご支援いただいています。それを就職のために自動車免許の取得費用にした子もいました。また、バイト代や給料が入るまでの生活

費に充てることもできませんでした。高校生活をしっかり送り、自立のための様々な力を付けて旅立って行ってほしいと思います。

上級学級への進学支援

児童養護施設の高校卒業生の大学・専修学校等の進学率は、約2割。全高卒者の進学率は約8割です。このことの不当性にいち早く着目したのは晴香園後援会です。子どもたちの進学への夢を奪ってはならないと、進学希望者へ入金と授業料を支援していただきました。

その結果、希望する子は大学や短大、専門学校に進学することが可能となりました。平成19年から25年の卒園者7名のうち、5名が進学をして希望を叶えることができました。

こうした卒園生の姿を見ながら、将来は自分もと、夢や希望を持ち続けられることが在園児にとつても大きな力となっております。

晴香まなび基金の設立

晴香園ではこれから高校を卒業する子ども達の数が増えてきます。4年生大学へ進学すれば4年間の支援が必要となり、十分な資金を準備しておかねばなりません。そのため、進学支援に特化した「晴香まなび基金」が設立され

ました。今後とも皆様の温かいご支援をよろしくお願ひいたします。

学習活動への支援

これまで、様々な学習の形態をとつてきましたが、今年度は児童養護施設の学習支援団体にお願ひしています。その委託費用と、個別の学習ボランティアの方々の交通費などを支援していただいております。子ども達の学習会を継続することができてきました。

進級祝い

毎年、進級時に各ホームに本をお祝いに頂いています。今年は「元素図鑑」「昆虫図鑑」「恐竜図鑑」「まんが日本の歴史」「そうなんだシリーズ」「伝記物語」など、各ホームの希望の図書を購入しました。子ども達の知りたい気持ちに応えられる環境づくりに役立っております。



卒業証書授与

様々な体験活動

身を持って学ぶことの意味は子どもにとつて大きなものです。経験不足で入所してくる子どももいます。自分に自信が持てず、新たな活動に取り組めない子どももいます。そのような子どもたちが、様々な体験を経て自分の世界を広げ、社会でどう生きていくかを考え、自信を持つて社会に歩みだしていけるようにと、子どもに合った活動の機会を作ってきました。後援会からその費用を支援していただいています。

今年、行ってきた活動は次のようなものです。

サイエンススクール、被災地ボランティア、ホームステイ、夢チャレンジ体験スクール、子どもの城、動物園等。

高校生の部活動支援

高校生のバスケット、バレー、テニス、卓球、弓道の部活動費を支援いただいています。

部活動に対する国からの措置費は中学生のみとなっており、高校になっても続けるには、個々の施設で費用を捻出しなければならぬ現状にあります。高校生活において部活動を続けることは、子ども達の様々な力をつけることにつながり、卒業後にも影響します。

多種多様な習い事

小学生の絵画教室、野球チーム、空手教室、サッカーチーム、声優教室、発明クラブ等に通う費用を支援していただいています。

習い事は子どもの成長の一翼を担う大切な機会となっております。中には、挫折を経験し、「もう続けられない」と、途中で辞めてしまふ子どももいます。しかし、どんな経験でも自分と向き合い、考え抜いたことは子どもにとって大きな財産になります。

また、まだ小さい子どもたちも「ぼくは〇〇やりたいんだ」と口にします。大きい子どもたちが好きなこと、得意なことに頑張つて取り組む姿を見て、自分はどんな習い事が良いかなとワクワクし、意欲を向上させることが出来ます。習い事を始めるためにちゃんと宿題を終えられるようになるうと、頑張ることもできます。このように習い事を始めていない小さい子どもたちにも様々な影響を与えています。

元々野球が好きだったS君(小学6年生)。年上の子どもたちが

エピソード1

打ち込む姿に憧れを持ち、野球を始めました。運動神経が良かったこともあり、めきめきと上達していききました。



ホームでの優勝のお祝い

小学校卒業を目前に控え、卒団の時期も迫ってきています。そんな中、先日行われた大会では見事に優勝を飾ることが出来ました。今まで練習が辛いこともあり、何度も挫折しそうになりながらも努力してきた成果が実った瞬間でもあります。

「努力は報われる」この経験は今後の人生においても大きな糧となることと思います。

園内クラブ活動

現在、行っているクラブ活動は自転車クラブ、卓球クラブ、マウンテンクラブです。

高齢児の余暇の過ごし方を充実させることを目的として発足したクラブ活動も、習い事や部活動、



軽井沢タリアセンにてロッククライミング

バイトにと活動の幅を広げつつある子どもたちの変化に応じて内容も変わりました。現在は小学生を中心に活動しています。活動の中では、それぞれの違いを認めあったり、支え合ったりと、集団活動ならではの体験を得ることが出来ています。

夏の軽井沢・長野旅行

毎年夏休みに、小学校高学年の子どもたちは軽井沢旅行、中高生の子どもたちは長野旅行に出かけています。往復の交通費は、後援会から、旅先での費用は後援会長からのご支援です。

今年初の試みとして、4月から数回にかけて旅行の内容を子どもたちで考え、話し合い、計画を立て、実行してみました。主体性を持つて旅行することで今まで以上

に体験から学ぶものが多いようです。

エピソード2

毎年恒例の夏の行事として、軽井沢、長野の旅行を楽しみにしていたAちゃん(高校2年生)。今年初めて旅行を計画しました。最初はわからないことだらけだったけれど、職員と相談しながら、なんとか3日間の計画を立て、旅行当日を迎えました。終わつての感想、「今まで連れて行つてもらっているだけだったけれど、いつもこんなに大変なんだね。みんなはどこに行きたいかなって考えたり、宿が空いてるか聞いて、予約したり。お金もこんなにかかってたんだね。いつも感謝していたけど、もっともつと感謝の気持ちかわいてきました。」子どもたちは体験を通じて、様々な想いを感じています。

春の交流会

毎年、ナプシヤルズ南柏にて後援会やボランティアの皆様との交流を行っています。今年は4月29日に行われ、総勢95名が集まり開催されました。

クリスマスシーズンに交流食事を

毎年12月に東京デイズニースー・ホテルミラコスタで小学校高学年から高校生までを対象に、

お食事会に招待していただいています。
 後援会の皆様との交流を目的として、はもちろんのこと、冠婚葬祭への参加や外食の機会が少ない子どもたちにとって、テーブルマナーやTPOに合わせた服装を学ぶ機会でもあります。



ミラコスタで全員集合

晴香園フェスタ

毎年開催されている晴香園フェスタは晴香園と後援会との共催で行ってきました。今年で7回目になり、多くの方にご協力いただき、大盛況のうちに終わりました。

もちつき大会の

お知らせ

平成26年12月27日(土)

午前10時～正午

晴香園 中庭 ※雨天決行

お餅(あんこ・きなこ・のり・納豆)、豚汁



昨年度のもちつき大会の様子

当日のお手伝いをしてくださる方を募集しております。お手伝いいただける方はご連絡ください。よろしくお願いたします。

連絡先

☎047(345)2722
 平日 午前9時～午後5時

編集後記

早いもので、今年ももうすぐ終わります。今年、Iホームは「新たな挑戦」の年でした。

部活や塾、習い事を始めた小学生、頑張っていることが出ています。高校生の初めての職業体験、いい経験になりました。新しいことに興味を持ち、「やりたい!」と声に出した子もいます。来年の実現に向けて動いています。

自分の意思でやってみても、続かなかつたり、成果が得られなかつたり、残念な形で終わってしまうこともあります。でも、何ものにも代えられない達成感や感動を得られることもあります。もしかしたら人生観が変わるとか、一生の趣味や仕事につながることも…。そんな可能性を信じて、来年も出来る限り子どもの「やりたい!」を大事にしていこうと思います。

そんなことを考えていた矢先の小2男児の発言「ねえ! オレ、バンジージャンプやりたい!」、「?」「ね、一緒にやろう!」、「:」。一応調べてみると、年齢と体重制限があつて小さい子は出来ないそうです。命拾い。

皆様の挑戦も意義のあるものになりますように!

広報担当 橋本・増子・大塚

新規会員ご入会 継続会員会費

納入ありがとうございます

新規会員ご入会及び継続会員会費納入ありがとうございます。お名前に誤字、脱字、記載漏れがありましたらお詫び申し上げます。また、その旨のご連絡を頂きたくお願い申し上げます。

(今号では、平成 26 年 8 月 1 日から平成 26 年 11 月 30 日までにご入会の方及び会費を納入いただいた方を掲載させていただきます。)

【新規会員】

- 武藤 晶子
 - 古舘 紀代子
 - 谷 康夫
 - 長谷川 義晃
 - 北條 秀明
 - 岡田 安生
 - 吹上 洪
 - 奥山 稔
 - 田邊 日登美
 - 海老 敬子
 - 久保 国雄
- (敬称略・順不同)

【継続会員】

- 及川 美智夫
- ㈱押尾保険事務所
- 柴田 歩
- 二階堂 裕子

㈱ファミリースポーツ

福田 眞

武藤 悟司・信江

柳沼 希博

㈱ユーライフ

吉澤 八重子

チャールズレイク

渡邊 順彦

根岸 正国

㈱ライズ

高埜 洋子

藤田 亜子

㈱リカーマート朝日屋

稲田 幾子

林 達哉

うらやす・はっぴーくらぶ

柳田 知子

藤谷 隆

猿渡 英明

大道 タイ子

高田 明子

廣山 道子

三浦 優子

秋山 実

(敬称略・順不同)

心温まるご厚志

ありがとうございました



「晴香まなび基金」へのご寄付

ありがとうございました

㈱コマノ設備

本庄 亮一

チャールズレイク

谷 康夫

柴田 和子

副島 隆信

(敬称略・順不同)

アングス食品

セカンドハーベスト

ルート産業㈱

マルハン松飛台店

松戸遊技業防犯組合

山崎製パン 松戸工場

㈱クリアー

オペラ座

株式会社チュチュアンナ

パン工房 アトリエマール

店主 小林 須美子

NPO 法人 Imagine

副理事長 山下 緋沙子

松戸市 福祉長寿部

高齢者支援課

松戸市観光梨園組合連合会

会長 渡来 和治

松戸市梨研究会

会長 渡来 隆雄

21世紀の森と広場

管理事務所

得居法律事務所 松戸東

ロータリークラブ 得居 仁

全国シヤンメリー協同組合

アミティエフーズ

代表取締役 秋山 健太郎

株式会社 ゴールド

代表取締役会長 申 激権

小倉 マリ子

和田 純子

日向 恵子

猿渡 英明

中村 康子

高橋 美加

植杉

木元 淳平

厨英彰・惠理子、霜田啓子

三田

佐野 わか子

シムラ

齋藤 三雄

西澤 昌彦

中島 浩昭

岩根 宏

佐藤

山田 迪夫

斉藤 良昭

須藤

渡邊 富美子

砂山 嘉幸

安田 真喜子

相田 将太

染川 章子

南行徳中部民生協議会

大山

明石 要一

根岸 正国

M D R T 日本会

千葉茨城ブロック

小金原中央商店街振興組合

公益財団法人 日本教育

公務員弘済会 千葉支部

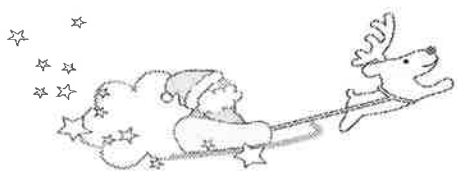
中澤 尚文

柏市主任児童委員連絡会

吉田

大阪 増田 田辺 久保 小高 世音 東 秀隆 松井 秀文 福祉ネットワーク 水の輪 タナカ トシカズ 松戸更生保護女性会 匿名6名

(敬称略・順不同)



○学習ボランティア

柴田 和子 田中 里奈 高橋 千尋 湯本 佳子 小林 由美子 Noel Curry 吉田 珠穂 青柳 陽子 秋田 拓哉 木下 恵 猿渡 英明 堤 大介 山崎 絵里 石川 悠久 畑岡 進也 後藤 奈々子 富永 俊一 佐久間 恒成 田島 啓子 草野 香奈恵 荒川 由里恵 井出 慶子 杉浦 かおり 林 洋子

○遊びボランティア

神部 等司

○家事手伝いボランティア

渡邊 富美子 和田 純子

○図書室ボランティア

口地 美恵子 深山 喜予 谷 康夫

○ピアノレッスンボランティア

石井 美和

○習字ボランティア

山本 健治

○散髪ボランティア

ハーフムーン

○花ボランティア

NPO 法人 Imagine

副理事長 山下 緋沙子

松戸更生保護女性会

○その他ボランティア

フィリップモリスジャパン 榊

○誕生日ケーキプレゼント

オペラ座

○フェスタボランティア

三浦 朋子 山田 明夫 柳田 知子

進士 美喜子 石原 研作

柴田 和子 小林 由美子

室橋 博史 赤間 恵子

白石 義雄

平野 菜穂季

小菅 恒夫

清水 潤也

荒川 由里恵

木田 大地

鈴木 優

猿渡 英明

青柳 陽子

後藤 奈々子

木下 恵

谷 康夫

田中 里奈

三笠 敬治

落合 繁夫

口地 美恵子

深山 喜予

安田 真喜子

広川 亮

中嶋 洋子

篠原 喜久恵

大竹 美子

町山 富子

宇田川 太江子

おやじの会

MDRT日本会

小堀

百田 大輝

藤谷 隆

斉藤 寛之

海老 敬子

(敬称略・順不同)

